

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月13日

会社名 株式会社 沖縄海邦銀行 上場取引所 —
 コード番号 — URL <https://www.kaiho-bank.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 上地 英由
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 新城 一史 TEL (098)867-2112
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,235	△0.7	482	268.2	229	134.8
2020年3月期第1四半期	3,260	1.7	131	△68.5	97	△68.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 463百万円 (423.2%) 2020年3月期第1四半期 △143百万円 (△133.3%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第1四半期	67	60	—	—
2020年3月期第1四半期	28	78	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2021年3月期第1四半期	777,753		43,511		5.5	
2020年3月期	740,435		43,133		5.8	

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 43,481百万円 2020年3月期 43,100百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—				
2021年3月期（予想）		25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	290	△27.8	130	△51.0	38	31
通期	520	△60.3	270	△66.5	79	57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期第1Q	3,400,000 株	2020年3月期	3,400,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期第1Q	7,221 株	2020年3月期	7,135 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期第1Q	3,392,843 株	2020年3月期第1Q	3,393,072 株

※四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
（1）四半期連結貸借対照表	3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
（継続企業の前提に関する注記）	5
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	5
3. 補足情報	6
（1）損益の概況【単体】	6
（2）資産・負債の状況 【単体】	7～9
（3）金融再生法ベースの категорияによる開示【単体・連結】	9～10
（4）自己資本比率（国内基準） 【単体・連結】	10
（5）時価のある有価証券の評価差額 【単体】	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）の経営成績について、経常収益は、貸出金利息は増加しましたが、有価証券利息配当金や役務取引等収益の減少などによって、前年同期比24百万円減少の32億35百万円となりました。一方、経常費用は、営業経費の減少や退職給付費用の戻入などによって、前年同期比3億75百万円減少の27億53百万円となりました。

その結果、経常利益は、前年同期比3億51百万円増加の4億82百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1億31百万円増加の2億29百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末（2020年6月30日）の財政状態について、総資産は、前連結会計年度末比373億18百万円増加の7,777億53百万円、純資産は、前連結会計年度末比3億78百万円増加の435億11百万円となりました。

主要勘定としては、貸出金は、事業性貸出の増加などによって、前連結会計年度末比29億59百万円増加の5,345億15百万円となりました。

預金は、個人預金および法人預金、公金預金が増加したことなどによって、前連結会計年度末比357億95百万円増加の7,270億73百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比10億97百万円減少の1,372億42百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想は、2020年5月14日に公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	48,558	74,811
コールローン及び買入手形	435	430
有価証券	138,340	137,242
貸出金	531,556	534,515
外国為替	437	902
その他資産	11,697	19,719
有形固定資産	8,718	8,721
無形固定資産	1,533	1,414
退職給付に係る資産	339	343
繰延税金資産	1	4
支払承諾見返	664	1,606
貸倒引当金	△1,847	△1,959
資産の部合計	740,435	777,753
負債の部		
預金	691,277	727,073
外国為替	50	170
その他負債	3,724	4,099
賞与引当金	360	151
退職給付に係る負債	656	323
役員退職慰労引当金	181	181
睡眠預金払戻損失引当金	48	45
利息返還損失引当金	13	13
偶発損失引当金	101	134
繰延税金負債	221	441
支払承諾	664	1,606
負債の部合計	697,301	734,242
純資産の部		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
利益剰余金	32,845	32,989
自己株式	△25	△25
株主資本合計	40,576	40,720
その他有価証券評価差額金	2,589	2,821
退職給付に係る調整累計額	△64	△61
その他の包括利益累計額合計	2,524	2,760
非支配株主持分	32	30
純資産の部合計	43,133	43,511
負債及び純資産の部合計	740,435	777,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
経常収益	3,260	3,235
資金運用収益	2,712	2,694
(うち貸出金利息)	2,432	2,442
(うち有価証券利息配当金)	271	243
役務取引等収益	304	285
その他業務収益	22	24
その他経常収益	220	231
経常費用	3,128	2,753
資金調達費用	53	37
(うち預金利息)	56	37
役務取引等費用	305	292
その他業務費用	0	1
営業経費	2,630	2,145
その他経常費用	140	276
経常利益	131	482
特別損失	0	105
固定資産処分損	0	4
減損損失	—	100
税金等調整前四半期純利益	131	377
法人税、住民税及び事業税	3	29
法人税等調整額	31	120
法人税等合計	35	150
四半期純利益	95	227
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	97	229

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	95	227
その他の包括利益	△239	236
その他有価証券評価差額金	△222	232
退職給付に係る調整額	△16	3
四半期包括利益	△143	463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△141	465
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 損益の概況

○経常収益

経常収益は、貸出金利息は増加しましたが、有価証券利息配当金や役務取引等収益の減少などによって、前年同期比22百万円減少の32億33百万円となりました。

○コア業務純益

資金利益および役務取引等利益は減少しましたが、経費の減少によって、コア業務純益は、前年同期比1億93百万円増加の2億19百万円となりました。

(コア業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 国債等債券損益 (5勘定戻))

(単位: 百万円)

単体	2019/6期	2020/6期		21/3期予想 (12ヵ月間)
	(3ヶ月間)	(3ヶ月間)	2019/6期比	
1 経常収益	3,255	3,233	Δ22	
2 業務粗利益	2,675	2,670	Δ5	
3 資金利益	2,659	2,657	Δ2	
4 役務取引等利益	Δ5	Δ10	Δ5	
5 その他業務利益	22	23	1	
6 経費 (除く臨時処理分)	2,633	2,426	Δ207	
7 人件費	1,259	1,213	Δ46	
8 物件費	1,066	963	Δ103	
9 税金	307	249	Δ58	
10 業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	41	243	202	370
11 コア業務純益 (注)	26	219	193	270
12 除く投資信託解約損益	26	219	193	
13 一般貸倒引当金繰入額 ①	Δ33	78	111	
14 業務純益	75	165	90	290
15 うち国債等債券損益 (5勘定戻)	14	24	10	
16 臨時損益	69	331	262	
17 株式等損益 (3勘定戻)	162	77	Δ85	
18 不良債権処理額 ②	131	89	Δ42	
19 個別貸倒引当金繰入額	112	32	Δ80	
20 偶発損失引当金繰入額	—	32	32	
21 その他の債権売却損等	18	23	5	
22 償却債権取立益 ③	14	35	21	
23 偶発損失引当金戻入益 ④	3	—	Δ3	
24 その他臨時損益	19	307	288	
25 経常利益	144	496	352	520
26 特別損益	Δ0	Δ105	Δ105	
27 固定資産処分損益	Δ0	Δ4	Δ4	
28 減損損失	—	Δ100	Δ100	
29 税引前四半期純利益	144	391	247	
30 法人税・住民税及び事業税	3	29	26	
31 法人税等調整額	35	123	88	
32 法人税等合計	38	153	115	
33 四半期 (当期) 純利益	105	237	132	270
(ご参考)				
34 与信関係費用 (①+②-③-④)	79	132	53	300

(注) 「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益 (5勘定戻) を除く業務純益。

3. 補足情報

(2) 資産・負債の状況

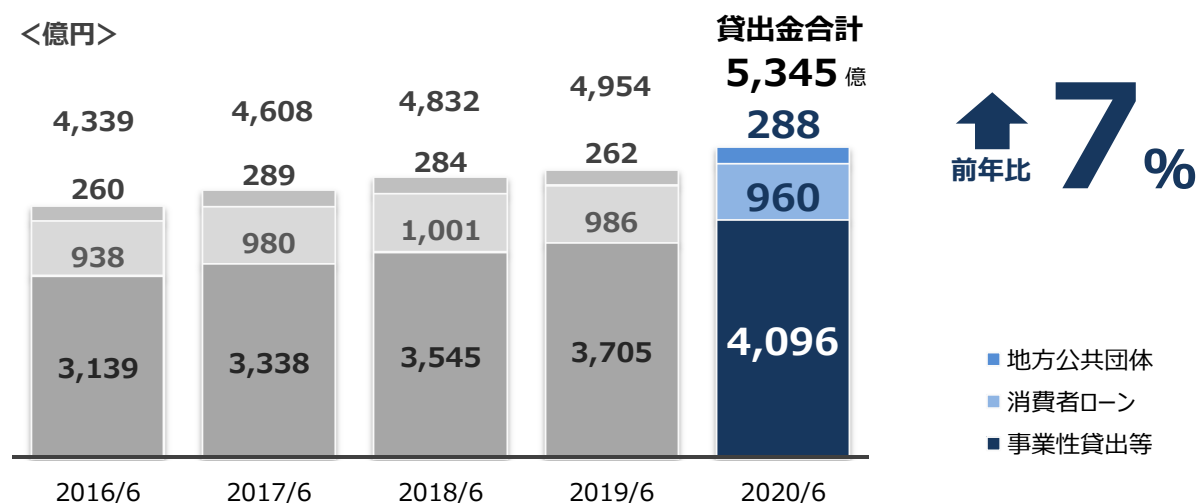
① 貸出金

不動産業や建設業などの事業性貸出が増加したことなどから、前年同期比391億1百万円増加の5,345億15百万円となりました。平均残高は352億4百万円増加の5,287億94百万円となりました。

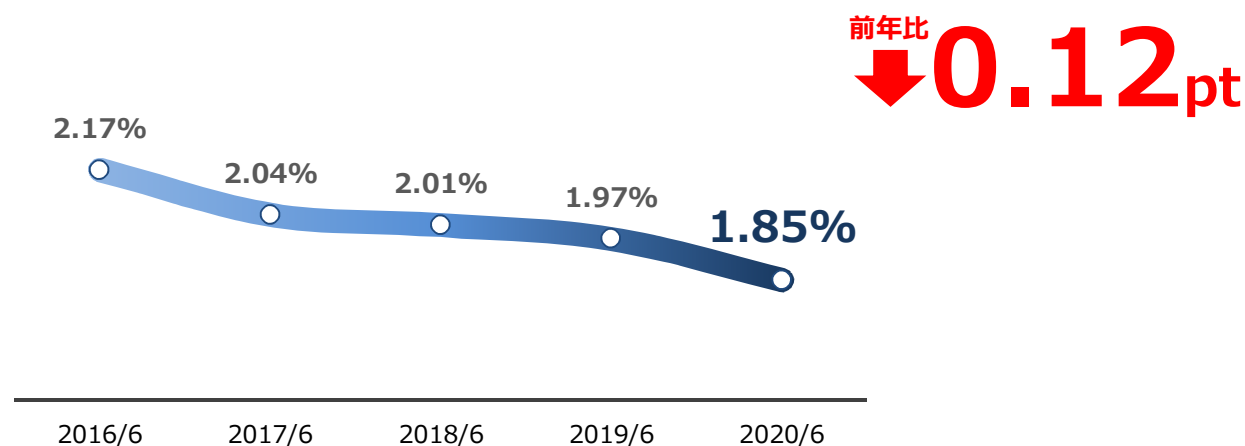
(単位：百万円)

単体	2019/6期末	2020/3期末	2020/6期末	2020/6期末比	
				2019/6期末比	2020/3期末比
貸出金（期末残高）	495,414	531,556	534,515	39,101	2,959
事業性貸出等	370,561	400,369	409,614	39,053	9,245
消費者ローン	98,627	97,245	96,008	△2,619	△1,237
住宅ローン	72,521	72,087	71,452	△1,069	△635
地方公共団体	26,226	33,940	28,892	2,666	△5,048
貸出金（平均残高）	493,590	504,269	528,794	35,204	24,525

単体 貸出金（期末残高）の推移



単体 貸出金（通期平均 利回り）の推移



3. 補足情報

(2) 資産・負債の状況

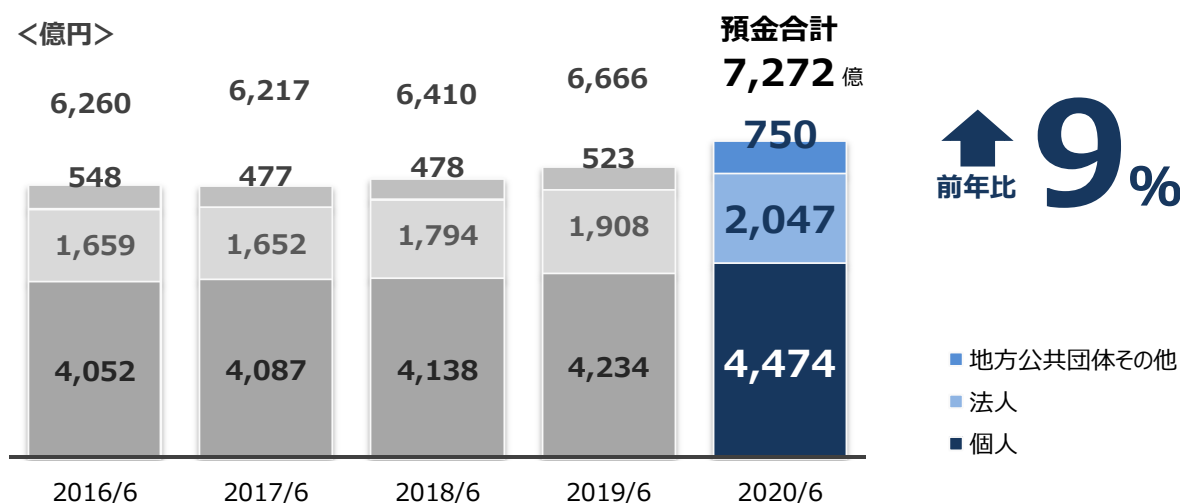
②預金

個人預金、法人預金および公金預金が増加したことから、前年同期比606億51百万円増加の7,272億52百万円となりました。平均残高は460億4百万円増加の7,112億24百万円となりました。

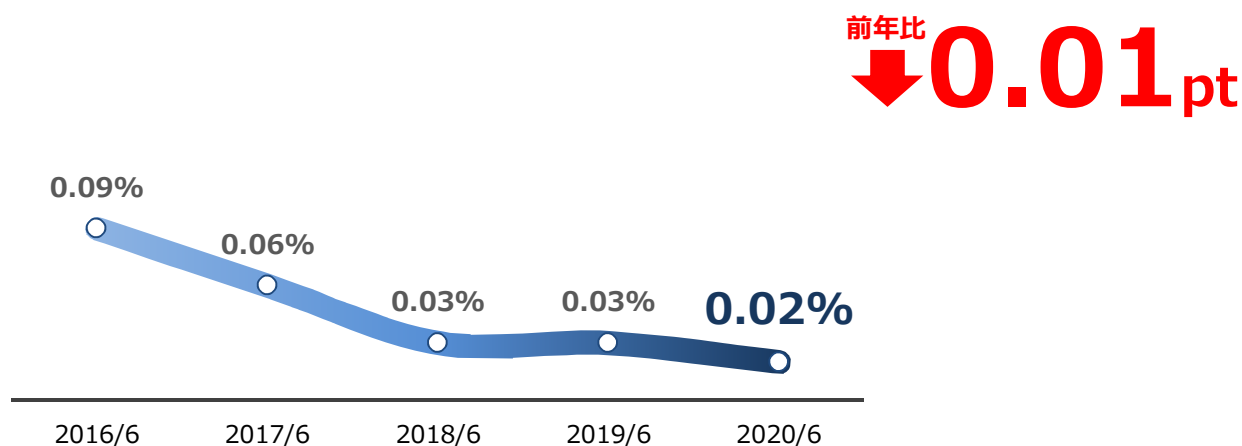
(単位：百万円)

単体	2019/6 期末	2020/3 期末	2020/6 期末	2020/6 期末比	
				2019/6 期末比	2020/3 期末比
預金 (期末残高)	666,601	691,423	727,252	60,651	35,829
個人	423,438	427,526	447,461	24,023	19,935
法人	190,860	193,506	204,761	13,901	11,255
地方公共団体その他	52,303	70,390	75,029	22,726	4,639
預金 (平均残高)	665,220	683,951	711,224	46,004	27,273

単体 預金 (期末残高) の推移



単体 預金 (通期平均 利回り) の推移



3. 補足情報

(2) 資産・負債の状況

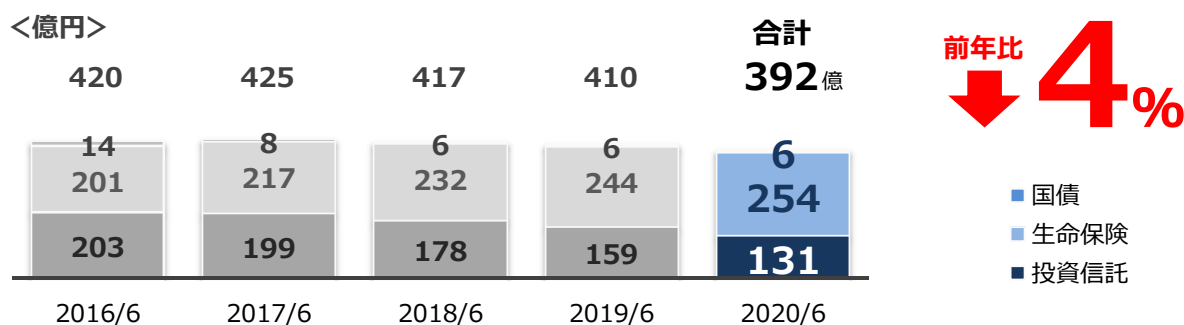
③ 預かり資産

生命保険および国債は増加しましたが、投資信託は減少しました。その結果、預かり資産残高は、前年同期比17億49百万円減少の392億54百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2019/6期末	2020/3期末	2020/6期末	2020/6期末比	
				2019/6期末比	2020/3期末比
預かり資産	41,003	38,545	39,254	△1,749	709
投資信託	15,900	12,667	13,114	△2,786	447
生命保険	24,488	25,240	25,494	1,006	254
国債	614	636	645	31	9

単体 預かり資産（期末残高）の推移



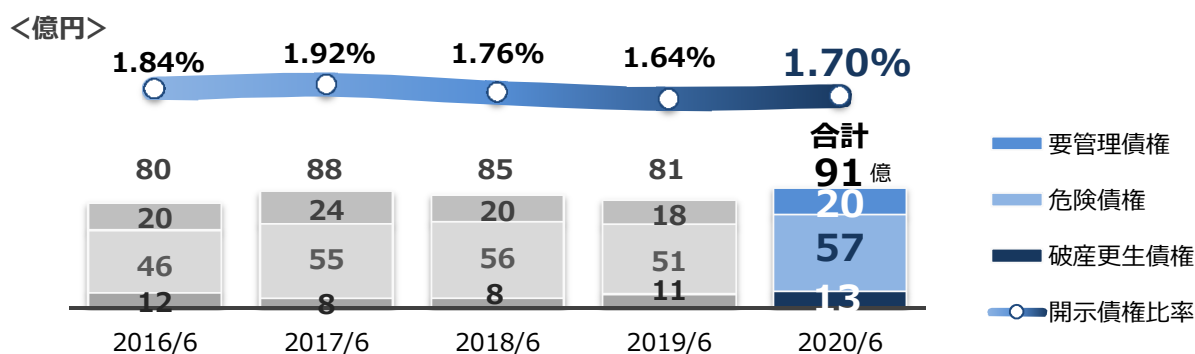
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

金融再生法開示債権は、前年同期比9億50百万円増加の91億30百万円となりました。開示債権比率は前年同期比0.06ポイント上昇の1.70%となりました。

(単位：百万円)

単体	2019/6期末	2020/3期末	2020/6期末	2020/6期末比	
				2019/6期末比	2020/3期末比
金融再生法開示債権	8,180	9,436	9,130	950	△306
破産更生債権	1,166	1,636	1,370	204	△266
危険債権	5,185	5,691	5,702	517	11
要管理債権	1,828	2,108	2,056	228	△52
正常債権	488,809	523,205	527,435	38,626	4,230
総与信額	496,990	532,642	536,565	39,575	3,923
開示債権比率	1.64%	1.77%	1.70%	0.06ポイント	△0.07ポイント

単体 金融再生開示債権（期末残高）の推移



3. 補足情報

(3) 金融再生法ベースの категорияによる開示

(単位：百万円)

連結	2019/6期末	2020/3期末	2020/6期末	2020/6期末比	
				2019/6期末比	2020/3期末比
金融再生法開示債権	8,180	9,436	9,130	950	△306
破産更生債権	1,166	1,636	1,370	204	△266
危険債権	5,185	5,691	5,702	517	11
要管理債権	1,828	2,108	2,056	228	△52
開示債権比率	1.64%	1.77%	1.70%	0.06ポイント	△0.07ポイント

(注) 上記の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、債務者区分の判定を行った結果を「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

(4) 自己資本比率 (国内基準)

単体	連結	2019/3期末	2019/9期末	2020/3期末	2020/9期末 (予想)
① 自己資本比率【単体】		8.26%	8.16%	8.03%	8%台
② 自己資本比率【連結】		8.26%	8.16%	8.05%	8%台

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(5) 時価のある有価証券の評価差額

(単位：百万円)

単体	2019/6期末		2020/3期末		2020/6期末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	124,791	5,945	136,776	3,676	135,660	4,003
株式	4,173	956	3,431	791	3,463	1,065
債券	111,672	2,316	127,340	1,248	126,679	1,130
その他	8,945	2,672	6,004	1,636	5,517	1,807

(注) 1. 「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券は保有していません。